



【校訓】明るく かしこく たくましく

学校教育目標：主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成

令和7年度、大変お世話になりました

保護者の皆さま、地域の皆さまには、令和7年度を通して本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。いよいよ3月23日は卒業証書授与式です。3月24日には在校生が修了式を迎えます。

皆さまには子供たちの生活面や学習面だけでなく、学校行事、PTA活動、登下校の見守り活動、学習支援、地域交流など、多方面にわたり力添えをいただきました。おかげで、子供たちは安心して豊かな学びを本年度も得ることができました。

本校は、これからも保護者の皆さまや地域の皆さまと、ともにある学校づくりを進めてまいります。今後も引き続き本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



6年生と地域の方との交流

体育館前のアスファルトを再舗装していただきました

体育館前のアスファルト舗装工事をしていただきました。工事前は、アスファルトにひびが入り、場所によっては雨天時に水たまりができていました。しかし、工事後には水たまりができなくなりました。また、駐車スペースの白線も引き直してあり、駐車がしやすくなりました。とても有り難く思っています。

ところで、約45年前には体育館前のスペースやその周辺に、道路で見かける交通標識と横断歩道が設置してありました。以前はこの場所を交通指導に活用していました。今でもそのときの標識の1つが残っています(右写真)。



現在、交通事故等から子供たちの命を守るために、学校での指導に加え、保護者の方や地域の方による登下校時の安全確保をしていただいています。このような「子供たちの命を守ってくださる『世代を超えた人と人とのつながり』」に心より感謝しております。

落雷事故にご注意ください

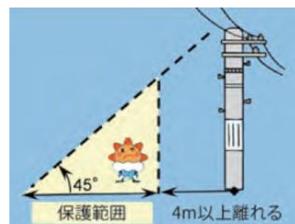
これからの季節、気をつけなければならないことの1つに雷があります。公園や学校の運動場、海などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところでは、人に落雷しやすくなります。また、木の下や電柱、煙突、鉄塔、建物などの高い物体にも落雷しやすいそうです。

そこで、子供さんを落雷事故から守るために、「近くで雷鳴が聞こえた時の対処法」として次の点をご家庭でもお話しください。

- ① 「屋外で遊んでいるとき」や「登下校中」の場合は、近くの安全な場所に避難する。
- ② 外出前の場合は、無理に屋外に出ない。
- ③ 自転車に乗っている場合は、すぐに降りて、姿勢を低くし、安全な場所に避難する。

○安全な空間に避難できない場合

- ・近くに避難する場所がないような場合には、低い場所を探してしゃがむなど、できるだけ姿勢を低くし、地面との接地面をできる限り少なくする。
- ・電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところに退避する。
- ・高い木の近くは危険のため、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上離れる。



※ 安全な場所：鉄筋コンクリート建築、自動車、バス、電車の内部は比較的安全と言われていています。

木造建築の内部も安全ですが、すべての電気器具、天井・壁から1m以上離れていると、さらに安全と言われていています。

ホームページの閲覧ありがとうございます

本年度もたくさんの方に本校ホームページを閲覧していただきありがとうございました。本年度中の閲覧数は、3月19日現在、297,155アクセスとなっています。今後も学校の様子を発信していきますので、ご覧いただきたいと思っております。